

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-WIDE-WEST



国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク(ノルウェー) 主題 「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
 アジア会長 ラチャン・マニーカン(タイ) 主題 「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」
 東日本区理事 山下 真(十勝) 主題 「挑戦なくして進化なし」
 あずさ部部長 大和田 浩二(松本) 主題 「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう」
 東京ワイドウエスト会長 渡辺 大輔 主題 「地域」「若者との連帯」「交流」



どんなことにも感謝しなさい。

これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたにのぞんでおられることです。

テサロニケの信徒への手紙ー5章18節

身の丈に合った地域活動を展開して 会員増強を考える

神谷 幸男

心地よい秋の秋となりました。先月はヘキサゴンDBCの締結式が行われ、元気のよい仲間が増えました。この元気いっぱいの流れに乗って会員を増やしましょう。

仲間を呼び込むには時期、地域のニーズにも合った活動(敢えて事業と言いたい)を展開すること、実はこれがなかなか難しいのですが、世のため、人のために役立つ活動に興味のある人は少なくありませんから人が集まりやすいです。

親しくなったクラブの活動中の事業や計画の事業のマネもあえて辞さずに、また事業運営のノウハウをしっかりといただくこともやる。

でも大事なことは、筋力、時間、頭脳を惜しまないこと、少々の挫折にも諦めないことを忘れてはならないでしょう。

身近にあるネタとしては、WHOに関わる施設、クラブメンバーが係のノウハウを生かしてのチャリテ

ィウォーク、福祉施設(特に子どもが係わっている施設なら、なお好ましい)の活動支援など考えられないでしょうか。福祉施設の活動支援の場合は財的支援になる可能性が高いかもしれませんが、これもまた良いことと思いませんか。

* * *

西連合 HEXAGON DBC

京都部部会で締結式を行いました。
詳しくは3頁で



クラブ役員

会長 渡辺 大輔
副会長 藤江喜美子
書記 小原史奈子
会計 本川 悦子
担当主事 波々壁 賢

9 月 の 記 録

在籍者数	21人	ゲスト	1人	ニコニコ	9,272 円
広義会員	2人	ビジター	0人	クラブファンド	ー円
出席者数	17人	例会出席合計	18人	ファンド残高	ー円
メーキャップ	1人			ホテ校ファンド	3,640 円
出席率	95 %	Zoom 参加	1人	ホテ校残高	15,440 円

10 月例会のご案内

強調テーマ : ASF

10 月例会は、東京 YMCA 高等学院の吉岡由見子先生に卓話をお願いしました。在京新年会や評議会などで生徒さんとトーンチャイムを披露していただきましたが、今回は学校の様子などをお聞きます。

日 時 : 10 月 15 日(木) 18 : 30~20 : 30
会 場 : 東京 YMCA 山手センター 303 教室
会 費 : 1,500 円

HAPPY BIRTHDAY

6 日 山下さつき 16 日 江夏 一彰

受付 藤江、篠原
司会 本川

開会点鐘・会長挨拶
いざたて斉唱 一 同
聖書朗読・祈禱 江夏一彰
ゲスト・ビジター紹介 会 長
会 食

卓 話 YMCAの通信制高校の今
東京YMCA高等学院
吉岡 由見子さん

ハッピーバースディ
連絡・報告 担 当 者
ニコニコ 一 同
閉会点鐘 会 長



卓話者紹介

吉岡 由見子(よしおか・ゆみこ) さん

1974 年 9 月 24 日、大阪生まれ、2 児の母。1993 年、千葉 YMCA 英会話会員として YMCA に関わり始め、ボランティアリーダーとして定例活動やキャンプに参加。千葉 YMCA の事務スタッフから 2 年間大阪 YMCA 通信制高校の開校に携わり、2015 年開校の東京 YMCA 高等学院へ活動の場を移し、現在に至る。2007 年に大阪 YMCA を本校とする通信制高校サポート校が千葉 YMCA に開校。2015 年閉校まで携わり 2015 年から開校した東京 YMCA 高等学院へ活動の場を移し現在に至る。

YMCA 専門学校留学生事情 — 9 月例会報告 —

9 月 17 日、東京 YMCA 国際ホテル専門学校山手校副校長・望月温さんをお迎えして、全国の YMCA 専門学校と留学生関連の状況を伺いました。

留学生に対する国の政策は、受入れ人数の拡大目標が予定より早く 40 万人に達したことを受け、「質の向上」へ向かっているとのこと、在籍管理を丁寧に行い日本語能力の基準を高め、卒業後に日本社会へしっかりと根を下ろし、経済活動にも貢献する留学生を積極的に受け入れる方針に転換されたそうです。

以前ニュースでも報じられたように、在籍管理が十分でない学校に対しては、改善指導や校名公表、留学生募集停止の制度が進められ、学校側の責務として、入学前の日本語能力確認、経費支弁



能力の確認、入学後のサポート、入学試験の実施方法など、様々な項目に留意することが求められています。

これに沿って全国 YMCA の 16 校の努力が続けられており、ホテル・観光、介護福祉分野は留学生が比較的多く、近年増加傾向だそう。初めて聞いた「技術・人文知識・国際業務」のビジネス分野は全国的に留学生の増加傾向にあり、在留資格を得て様々な業種へ就職するそうです。

今年度のホテル学校入学者数は、大阪・神戸・熊本では昨年よ

りも数字が伸びているが、東京では日本語能力要件を引き上げたこともあり、前年度から少し減少したが、内定先は外資系ホテルが中心で、日本語・母語・英語を使いこなせる留学生が高く評価されている傾向にあります。

国は外国人受け入れに消極的な政策に転換しつつあり、メンバーからも疑問視する意見がありました。

(篠原文恵)

西連合ヘキサゴン締結式

2026年9月5日、第31回京都部会に合わせて「西連合 HEXAGON DBC 締結式」がホテルグランヴィア京都で行われた。

今年の7月1日、東京西・東京武蔵野多摩・東京たんぼぼクラブの合流により、「東京ワイドウエストクラブ」となったため、ヘキサゴングループに装いを新たにしているために行われた。

神戸西・京都ウエスト・大阪西・熊本にし・千葉ウエストと東京ワイドウエストの6クラブの締結が岡村・西日本区理事、山下・東日本区理事の立ち合いのもと、総勢57人の参加で行われ、部会に先立ち締結書に各会長及び東西両理事の署名がなされ終了した。当クラブからは渡辺会長はじめ9人の参加。

その後に開催された京都部会でも新たな締結の紹介が盛大に行われ（ヘキサゴンのすべてのメンバーが壇上に上がった）、京都部会参加の皆さんへの大きなアピールとなった。ちなみに京都部会の参加者は500人以上である。

締結式を通し、今までのヘキサゴン（最初は5クラブであったためペンタゴン）の歴史を学びつつ、ワイズのつながりと広さに改めて圧倒された気持ちであった。今までの歴史の中で相互の交流は当たり前であったが、被災地支援や、それぞれを支えあうつながりをお聞きし、まさに「ワイズ運動」の一つの素晴らしい表現を見た。

ワイズ運動が厳しさを増していく中で、このヘキサゴンのつながりが一つの道標となっていくことを感じた時間でもあった。

最後になるが、今回の締結式を実現できたのはひとえに森田恵三ワイズ（京都ウエスト）の大変熱い思いであった。個人的には、森田ワイズと親しくお話をする機会が持てたことは幸いで、学びの多い時間であった。感謝。

（山口直樹）



第40回チャリティラン大会



26日は、朝からしっかりと雨模様でしたが、朝6時の東京YMCAホームページで「本日開催」とのアナウンスがあり、雨の中、江東区の木場公園へ向かいました。雨の為、ボランティア参加をキャンセルする連絡が複数あり、ワイズメンバーの参加はいつもより少なめでしたが、10時半から子どもランも無事に開催されました。幼児の部でもみんながんばって走っていましたよ。チャリティランは6名でひとチーム。今年は48組の出走でしたので、480万円を超える寄付金が東京YMCAへ贈呈されました。ホテル専門学校、高等学院、山手センター、スペースさんかくチームなどは33分前後で接戦をくりひろげていました。当クラブから本川、篠原、小原の3人が参加してお手伝いをしました。（小原史奈子）



富士山例会に参加しました



26日、宮内夫妻、山口、渡辺の4名で参加。京都洛中からも2名参加して全員で40名を超える参加者、今回も盛況でした。

朝の10時頃に5合目で9℃、日中は少し上がりましたが、5合目はずっと寒い感じ。

天気は、時折り強く降ったり、しとしと降ったりと1日雨で、肉は外で焼きましたが、基本的には建物の中で食事はしていました。

2日目、私と宮内夫妻は朝食後に出発。山口さんは、エクスカッションで船津胎内へ行ったあと、山中湖で行われている別のキャンプへ移動されたみたいです。

（渡辺大輔）

10月役員会(事務会)報告

日時：10月1日（木）19：00～

出席者：小原、篠原、田附、藤江、本川、宮内、山口、渡辺

<協議事項>

葉とらずりんご：(3,000円+送料)

11月初旬締切り

▼12月例会の確認：東京八王子クラブ例会との共同開催を相談

▼山手バザー出店の候補を検討：

▼2027年5月8日開催の評議会の食事内容等の検討：

ドキュメンタリー映画 「百姓、わらう。」を観て

村野絢子

百姓は「生きさま」。だから彼らは「わらう」。土の「深さ」と農政の「浅さ」。監督・柴田昌平が、前作「百姓の百の声」のベテランに続く 49 歳以下の若者の歩みを紹介した映画。

①農家 A：連面と続いてきた文化と農業を「生きた形」で未来へ渡すために（広島県・42 歳）

②農家 B：微生物は最高の共同経営者。植物と土が育てあう「環境」の小宇宙（広島県・47 歳）

③酪農：普通の積み重ねの先に特別な暮らし、牛が走る風景と家族の時間（北海道・42 歳）

④農家 C：豪雪の「中山間地域」都市を守る命のゆりかご、農家一人が 100 軒を支える年間所得 400 万円のモデル（新潟県・48 歳）

⑤跡継娘と婿入り息子の挑戦、大災害の窮地を救った消費者との繋がり、失敗を許容する温かい社会（山形県・47 歳）

⑥農家 E：全国から若者が集まる「泥まみれの熱狂」草刈りは田車除草でたった一回、微生物とこぼれ種が教えてくれた超楽農法、機械に頼らず自分の知恵と楽しさをシェアする（熊本県・44 歳）

⑦農家 F：田んぼの一年生、水と鍬を通して村に学ぶ、消費者から作る人へ（京都市・46 歳）

日本の農政は世界の中でも補助

金・目的・農家の所得比率など特殊です。日本は土建業者、機械メーカー、JA（30%）への支払いが多く、政府は農家への現金給付を嫌い、予算の 3 割を公共事業へ。

EU は環境と景観を守る正当な報酬として農家個人の口座に振り込む（90%）。アメリカは保険会社と農家（35%）で価格暴落時に不足払い、戦うためのセーフティネットに。アジア（韓国・台湾など）は日本より高く、直接支払いに移行中。

お米や野菜が安い高いとは言うが生産者の方々に関心を持ち、もっと感謝したいと思いました。

（ご希望の方には資料のコピーをお渡しします）

YMCA Today

■9 月 1 日「関東大震災第 103 周年記念追悼合同早天礼拝」を、在日本韓国 YMCA と共催で、在日本韓国 YMCA で 55 名出席のもと開催。金性済牧師（東京韓国 YMCA 理事、日本キリスト教協議会元総幹事）に「わが口から出る言葉も、むなしくわたしに帰らない」と題してメッセージを頂きました。

■熊本地震被災地支援として八代市の避難所運営支援を継続しており、12 月末頃まで交替でスタッフ派遣を行っています。9 月 19 日～21 日には、阿蘇キャンプにて八代市の小中学生を対象とした第 1 回リフレッシュキャンプ「あおぞらキャンプ」が実施され、東京 YMCA からユースリーダー 3 名が参加、また、10 月 2 日 19 時より「熊本地震被災地支援活動報告会」をオンラインで開催します。

■ホテル学校では、1 年生が 8 月下旬に毎年恒例の野尻湖スポーツ合宿に行き、9 月第 2 週からホテル実習が始まっています。

9 月 26 日、「第 40 回東京 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2026」が都立木場公園にて

開催。48 チーム 288 人のランナーが参加したほか、子どもたち、ボランティア、スタッフなど合わせて約 1,100 名が集まりました。益金は 4,816,749 円（昨年比約 300,000 円プラス）となり、東京 YMCA と全国 YMCA が行う障がい児支援プログラムのために用います。ホテル学校は 13 位と全力を尽くしました。（2023 年は 1 位、2024 年は 2 位、2025 年は 5 位と徐々に下がり気味です…。チーム数は対昨年比でプラス 5 組）手伝いには 13 名の学生が参加し、コースの水掃き、子供ランの景品手渡し等チャリティーラン運営の一端を担う経験をしました。

担当主事・波々壁 賢

さんかく▽だより

9 月 12 日（土）に、港区に在住または在勤する知的障がいのある方々を対象とした余暇活動「いちよう学級」を、港区役所にて行いました。今回は、異文化体験を行い、YMCA の語学教育の先生を講師にお迎えしました。3 回目となる異文化体験ですが、今回は「daily routine」をテーマに毎日のルーテ

ィンについて英語で伝える練習をしました。ゲーム形式で時間の表現などを学びました。最初は、「英語がわからないから不安」という受講者さんもありましたが、歌やダンスなどのアクティビティを行い、少しずつ緊張もほぐれてきて最後には多く笑顔を見ることができました。受講者の方からの感想では、「ジェスチャーや片言でもがんばったら伝わる」という声もありました。チャリランには、さんかくがプログラムに参加しているメンバー 3 名、ボランティアリーダー 2 名、スタッフ 1 名でチームを組んで出場しました。会員やワイズの皆さまが寄付を通じて後押ししてくださったおかげで、チームとして走ることができました。雨に濡れながらの走りとなり、順位は振るいませんでしたが、お互いに声を掛け合い、チーム一丸となって無事に完走を果たすことができました。

これからも、メンバーとともに一歩ずつ活動を続けてまいります。私たちの歩みを、どうぞ温かく見守り、お力添えいただけますと幸いです。

さんかく・鈴木佳乃

今後のスケジュール

10/10 神田川船の会
10/11 かながわ部部大会
10/12 深川散歩
10/17～18 ブルー・ミュージックキャンプ

ファイアー（山中湖）
10/24 西日本区中西部会（USJ）
10/30 埼玉クラブ 50 周年記念会
11/5 クラブ役員会
11/6 チャリティーコンサート（霊南坂）